

生成AIツール活用に関するアンケート 結果

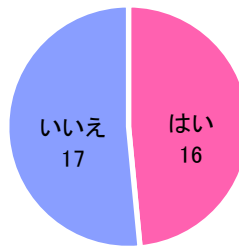
2025年8月4日
姫路経営者協会

【実施要領】

- ・実施対象 姫路経営者協会 会員企業660社
- ・実施時期 2025年5月16日～6月16日
- ・実施方法 FAX、Eメール等でアンケート用紙およびアンケート回答フォームを送信し回答を依頼
- ・回収状況 33社(2025年6月16日現在)

質問1.現在、社内で生成AIツールを使用しているか

はい…16社 (48%)
いいえ…17社(52%)



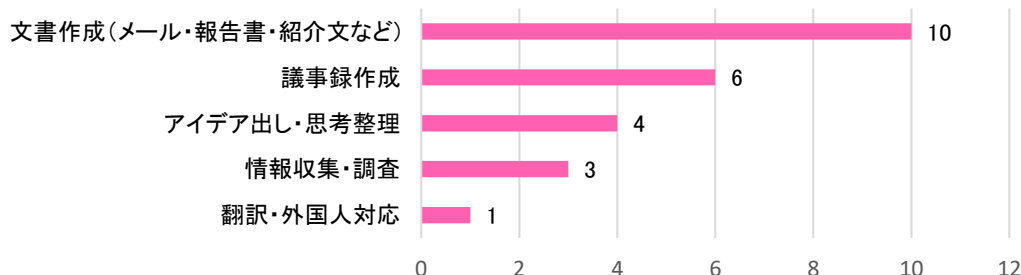
質問2.利用している生成AIツールと選んだ理由(質問1で「はい」と回答した16社対象・複数回答)

ツール	件数/16社	理由
ChatGPT	11	無料で使用可能・会社の方針・有名だから・優秀だから
GEMINI	3	Google Workspaceとの連携のため
Microsoft Copilot	3	会社の指定、マイクロソフトオフィスとの連携のため
G-colleague	2	親会社、本社の推薦
NotebookLM	1	未回答
グループで作成されたもの	1	親会社からの指示

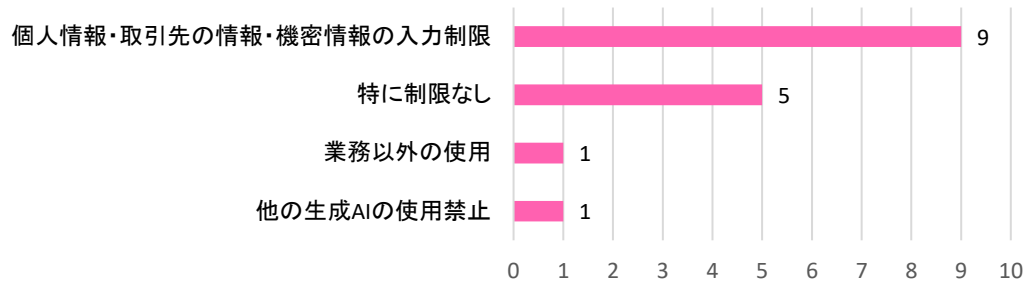
質問3.禁止にしている生成AIツールと理由(質問1で「はい」と回答した16社対象)

ツール	件数/16社	理由
特になし	12	明確なルールがないため、個人で利用しているため
会社指定ツール以外すべて	2	情報漏洩・セキュリティ対策、会社からの指定
deep seek	1	不信感があるため 注意喚起されている
情報漏洩、権利侵害、 正確性にリスクがあるもの	1	リスク回避

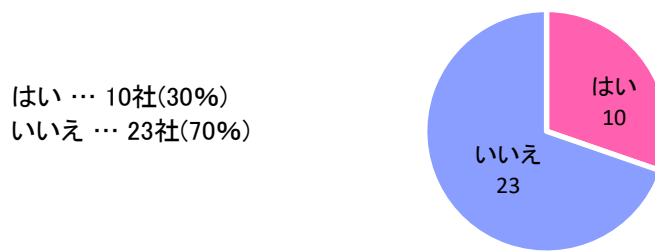
質問4.生成AIの活用方法(質問1で「はい」と回答した16社対象・複数回答)



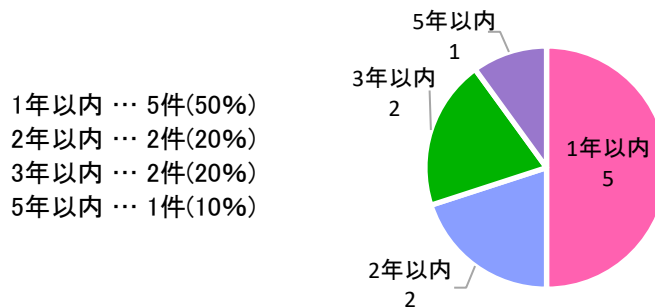
質問5.生成AIを活用する上での禁止事項(質問1で「はい」と回答した16社対象)



質問6.今後AIは完全有料化されると思うか



質問7.何年後に完全有料化されると思うか(質問6で「はい」と回答した10社対象)



質問8.生成AIへの見解

肯定的な意見

- ・マンパワーに頼れない中小・零細企業にとって大きな戦力になることを確信している。
- ・省人化に必須となる。
- ・人手不足への貢献が期待される。
- ・ビジネスには必須のツール。
- ・データが蓄積されることで新しいビジネスアイデアの創出を期待している。

懸念点

- ・ルール化ができていない。
- ・AIを活用できる助成金の整備が必要。
- ・AIの使用に関する法整備がきちんと確立されることが望まれる。
- ・使用に関しては悪用されないような厳格な取り決めの構築が急がれる。
- ・AIへの依存・問題解決能力の低下が懸念される。
- ・便利だと思うが、各個人独特の方言や言い回し等、課題は多いと思う。
- ・使い方によっては素晴らしいが、今後はAIを使用した犯罪が増えてくるのではないかと懸念。
- ・業務改善AIの活用方法が今一つわからない。生成AI以外のAIにも期待したい。
- ・インターネット情報の集積であることへの理解が必要。

否定的な意見

- ・AIで生成物を造ろうとは思っていないし仕事にも取り入れようとは思わない。

情報提供

- ・法人有料契約(ChatGPT Team)を結ぶことで一定程度セキュリティは担保される。